

仕様

品番	MBR-C06G		MBR-C08G	
ユニット	中せんユニット	キャップユニット	中せんユニット	キャップユニット
実容量	0.60L	0.64L	0.80L	0.84L
保温効力(6時間)	73度以上	—	77度以上	—
保冷効力(6時間)	8度以下	8度以下	8度以下	8度以下
外形寸法 ^{*1*2}	幅8.4×奥行9.5×高さ19.3cm	幅8.4×奥行8.5×高さ20.6cm	幅8.4×奥行9.5×高さ23.8cm	幅8.4×奥行8.5×高さ25.0cm
質量 ^{*1*3}	0.39kg	0.38kg	0.45kg	0.43kg

*1 おおよその数値です。*2 ポーチを含まない数値です。*3 ポーチを含む数値です。

※保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯を中せんユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから6時間放置した場合におけるその湯の温度です。

※保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水を中せんユニット及びキャップユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度のときから6時間放置した場合におけるその水の温度です。

※実容量とは、製品付属の中せんユニット、キャップユニットをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「少なめ容量」ではありません。

消耗品・別売品のお買い求めについて

中せんユニット・キャップユニット・バックンは消耗品です。(熱や蒸気にふれるためご使用にともない傷んでく場合があります。)

1年を目安にご確認ください。汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたり以下のいずれかでお買い求めの上、交換してください。

●お買い上げの販売店

●消耗品・別売品のご購入サイト

<https://www.tiger-shop.jp>

*1 せんバックン・注ぎ口バックンつきです。

*2 ふたバックン・くちバックンつきです。

*3 製品の色柄により異なります。

品番・色柄をご確認の上、ご注文ください。

消耗品・別売品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。(材料調達や設備状況等によっては10年未満で供給できなくなる場合がございます。)

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.14をご覧ください。
それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

①製品名②品番(本体底面にシール表示)③製品の状況(できるだけ詳しく)④購入日
また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のため一部予告なく変更することがあります。

連絡先 タイガー魔法瓶株式会社

本社
〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・修理のご相談 お客様ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ

TEL(06)6906-2121

●受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除きます)

消耗品・別売品のご購入サイト

<https://www.tiger-shop.jp>



ホームページアドレス <https://www.tiger-corporation.com>
※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。



品番

MBR-C 型①

家庭用

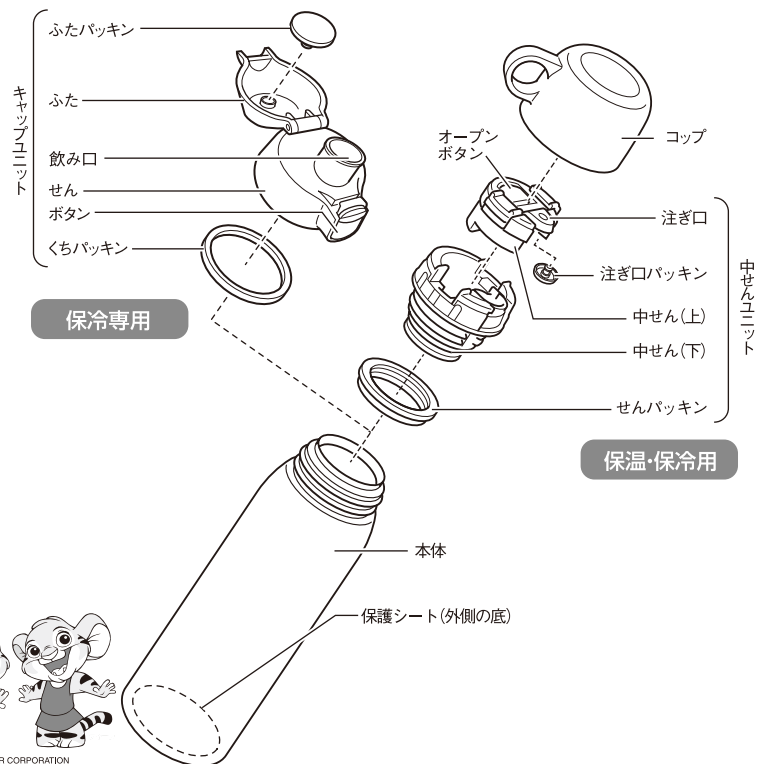
ステンレスボトル サハラ ポーチつき

SAHARA

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



© 2003 TIGER CORPORATION

※ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

SAHARA

- ◆ お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ◆ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の区分で説明しています。

警告 死亡や重傷を負うことが想定される内容です。

注意 傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される内容です。

図記号の説明

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

注意 実行しなければならない「指示」内容です。

警告

- 禁止** 乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。
やけどやけがなどのおそれ。



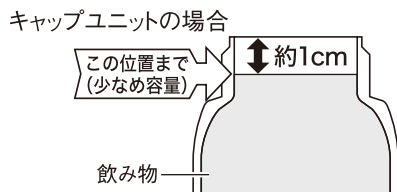
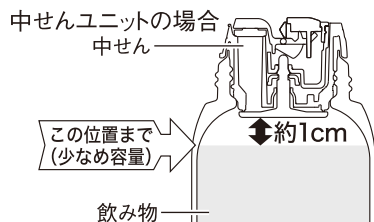
注意

- 必ず実施** 中せんユニット・キャップユニットは、確実にしめ、ロックされていることを確認する。
内容物がもれて、やけどやものを汚す原因。

- 禁止** ドライアイス・炭酸飲料などは入れない。
本体内部の内圧が上がり、中せんユニットやふたがあかなかったり、内容物が吹き出るおそれ。また、中せんユニットやキャップユニットが破損して、飛散する可能性があり危険。

- 禁止** 牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。
腐敗・変質の原因。また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生し、本体内部の内圧が上がり、中せんユニットやふたがあかなかったり、内容物が吹き出るおそれ。また、中せんユニットやキャップユニットが破損して、飛散する可能性があり危険。

- 必ず実施** 飲み物の量は、図の位置までにする。
入れすぎると、オープンボタンがかたくなったり、もれたり、あふれたりして、やけどのおそれ。



本体外側の底に貼ってあるシールは、はがさないでください。

注意

- 禁止** コンロやストーブなど、火気のそばには近づけない。
やけど・変形・変色の原因。

- 禁止** 電子レンジで加熱しない。
火花が飛んで、けが・故障の原因。

- 禁止** 肩部分にヤカンなどの注ぐ容器をあてない。
転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。



- 禁止** 自動車走行中は使わない。
やけど・車内や衣服を汚す原因。(また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。)

- 禁止** 保温性能が低下したときは使用しない。
熱いものを入れると本体が熱くなり、やけどなどのおそれ。

- 禁止** みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。
腐敗・変質・サビのおそれ。

- 禁止** お茶の葉・果肉などは入れない。
目づまりし、もれるおそれ。

- 禁止** 飲み物の保温・保冷以外に使わない。

- 禁止** 冷凍庫に入れない。
内容物がもれたり、破損のおそれ。

- 禁止** 倒れたり、落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えない。
破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・塗装ががれ・内容物がもれるおそれ。



- 禁止** 塩素系漂白剤は使わない。
サビたり、穴があく原因。タイガー真空断熱ボトル用洗浄剤(別売品)をおすすめします。

- 必ず実施** スポーツ飲料を入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。
外出時など充分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。カビの発生やサビや穴があくなど故障の原因。

- 禁止** 分解・修理はしない。
故障や事故の原因。



- 禁止** ポーチのベルトを持って振りまわさない。
人や物にあたって、けがや破損のおそれ。またポーチとベルトの接続部品が破損の原因になり、製品が落下してけがや破損のおそれ。

- 禁止** 本体外側がぬれている状態で、ポーチに入れない。
サビやにおいの原因。

- 禁止** ポーチはぬれたまま使わない。
衣服などに色移りする場合がある。

- 必ず実施** ポーチのベルトは確実につけて使用する。
製品が落下し、けがのおそれ。

⚠ 注意

禁止 ポーチのベルトを首からかけない。
窒息やけがのおそれ。

禁止 ポーチのベルトを肩にかけているときは以下に注意する。
● 走らない。 ● 運動しない。
● 遊ばない。 ● 周りの物に引っかけない。
● ボトルがおなかの正面にこないようにする。

必ず実施 玩具等で遊ぶときは置いて遊ぶ。

禁止 本体が入ったポーチをさかさにして持たない。
ポーチから本体が抜け落ち、けがや破損のおそれ。

禁止 ポーチには塩素系、酸素系漂白剤を使わない。
色落ち・変色・退色の原因。

禁止 ポーチには衣類乾燥機を使わない。
縮むおそれ。

禁止 本体の横置きはしない。
内容物がもれる原因。

禁止 かばんや袋に入れたまま放置しない。
周囲の環境(湿度・塩分)などにより、サビにおい原因。

必ず実施 かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。
横にするとおそれ。



禁止 本体外側の底に貼ってある保護シートは、絶対にはがさない。
はがすと、保温(保冷)効果が低下するおそれ。



保護シート
(本体外側の底)

禁止 本体の柄やシールを、つめやかたいもので引っかいたり、こすったりしない。
はがれる原因。

缶ホルダーで使うとき

必ず実施 缶ホルダーを使うときは、あらかじめ強度を確認してから使う。
強度が充分でない場合、ホルダーがはずれたり破損して、やけど・車内や衣服を汚す原因。

必ず実施 市販の缶ホルダーは、据え置き型を使う。
ウインドーやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型で使うと、ホルダーがはずれて、やけど・車内や衣服を汚す原因。

中せんユニットを使うとき

必ず実施 熱いものを入れた場合は、必ずコップを使って飲む。
本体から直接飲むとやけどなどのおそれ。(断熱効果により、熱いものを入れても外側は熱くなりません。)

禁止 本体を傾けた状態や顔などを近づけた状態で、オープンボタンを押さない。
熱湯が勢いよく出て、やけどのおそれ。

⚠ 注意

禁止 コップに注ぐときは、本体を急に傾けない。
急に傾けると、飲み物が急激に出て、やけどなどのおそれ。

必ず実施 注ぎ終わったら、本体を立てた状態にして、必ず注ぎ口を閉じてコップをしめる。
内容物がもれるおそれ。

必ず実施 氷を入れると本体の内圧が下がり、ふたをあけたときにふたパッキンがはずれることがあるので、その場合はもとの位置につけなおす。

製品の構造上、湿度が高いときにキャップユニットに水滴がつく場合があります。

キャップユニットを使うとき

禁止 熱いものを入れない。
やけどのおそれ。



必ず実施 飲み物は、できるだけ早く飲みきる。
長時間放置した場合、腐敗によりガスが発生し、本体内部の内圧が上がり、ふたがあかなかったり、内容物が吹き出るおそれ。また、キャップユニットが破損して、飛散する可能性があり危険。

禁止 キャップユニットをセットした状態で飲み口から飲み物を入れない。
こぼれたり、転倒する原因。

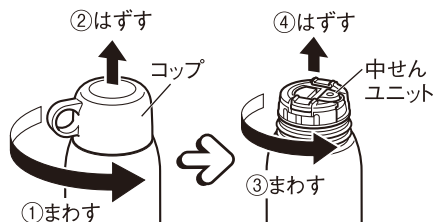


1

コップ・中せんユニットをはずす。

First!
はじめて使うとき

- 本体内側・中せんユニット・コップをお手入れする。
- 注ぎ口パッキン、せんパッキンがついていることを確認する。



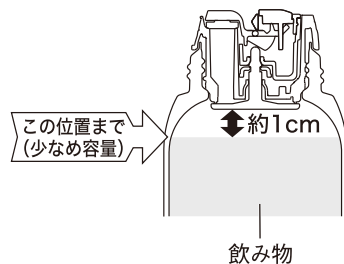
2

保温(保冷)効果を高めたいときは、
少量の熱湯(冷水)を入れ、1～2分予熱(予冷)する。
予熱(予冷)後は、お湯(水)をすてる。

3

熱い(冷たい)飲み物を入れる。

- 飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。
- 大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。
- 熱いお茶を入れると、お茶の色が変わることがあります。お茶のときは、中せんユニットが目づまりするおそれがありますので、ティーバッグなどをおすすめします。



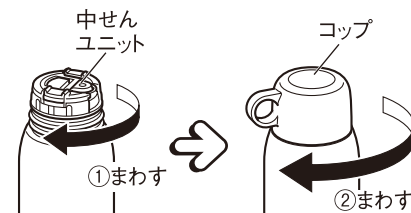
ご注意

本体外側にこぼれた飲み物は、必ずふき取る。

4

中せんユニット・コップをしめる。

- 中せんユニット・コップがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。

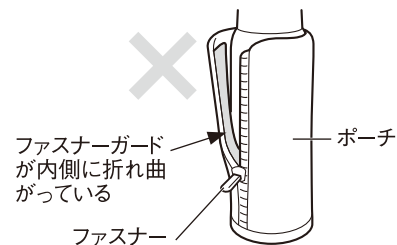


5

本体をポーチに入れる。

ご注意

ファスナーをしめるときは、ファスナーガードが折れ曲がっていないことを確認する。
本体に傷がつくおそれ。

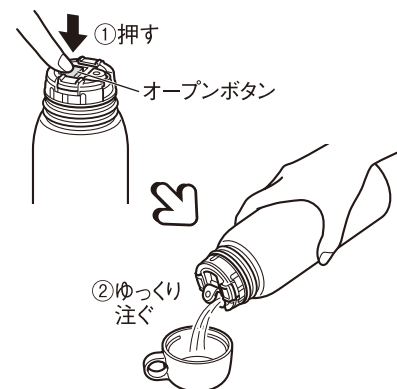


6

コップをはずし、オープンボタンを押してから本体を傾けて、飲み物を注ぐ。

ご注意

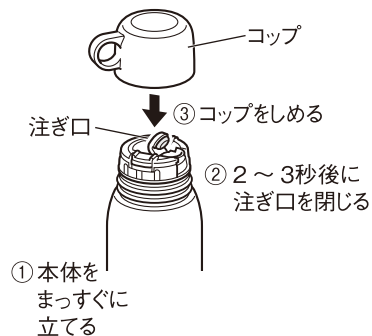
- 本体をふらない。
- 本体を傾けた状態でオープンボタンを押さない。
熱い飲み物が勢いよく出て、やけどのおそれ。
- 本体を急に傾けずにゆっくり注ぐ。



7

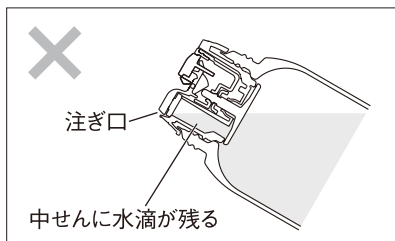
注ぎ終わったら、必ず本体をまっすぐに立てて、2～3秒後に注ぎ口を閉じてからコップをしめる。

コップの内側に残った「水滴」を振り切り、よくふいてからしめる。



ご注意

- 本体を傾けた状態で注ぎ口を閉じない。中せんユニットの内部に少量の「水滴」が残り、持ち運ぶときなどに水滴がもれるおそれ。
- かばんなどに入れるときは、万一のものを防ぐために本体を立てて入れる。横にすると、もれるおそれ。



1

コップ・中せんユニットをはずす。

First!

はじめて使うとき

- 本体内側・キャップユニットをお手入れする。
- ふたパッキン、くちパッキンがついていることを確認する。

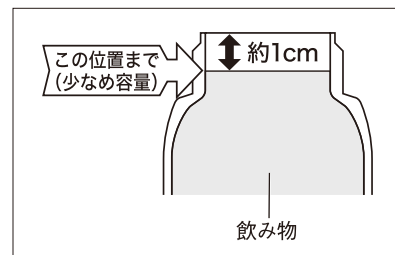
2

保冷効果を高めたいときは、少量の冷水を入れ、1～2分予冷する。予冷後は、水ですてる。

3

冷たい飲み物を入れる。

- 飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。
- 大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。



ご注意

本体外側にこぼれた飲み物は、必ずふき取る。

キャップユニットの使いかた

4

本体を立てた状態にして
キャップユニットをしめる。

- キャップユニットがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。
- 安全ロックを「ロック」にする。

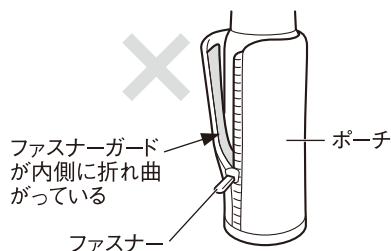


5

本体をポーチに入れる。

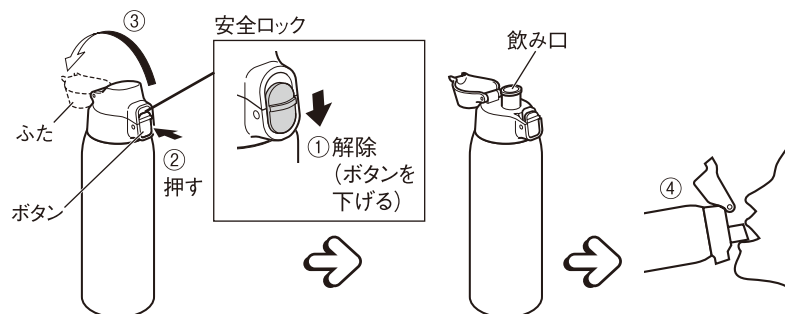
ご注意

ファスナーをしめるときは、ファスナーガードが折れ曲がっていないことを確認する。本体に傷がつくおそれ。



6

安全ロックを「解除」にして
ボタンを押し、ふたをあけて飲む。

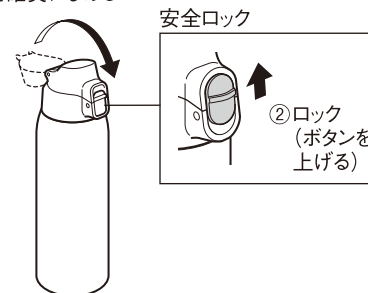


7

飲み終わったら、
本体を立てた状態にして
ふたをしめ、安全ロックを
「ロック」にする。

- 「カチッ」と音がして安全ロックが固定されるように、確実にしめる。

①ふたを確実にしめる

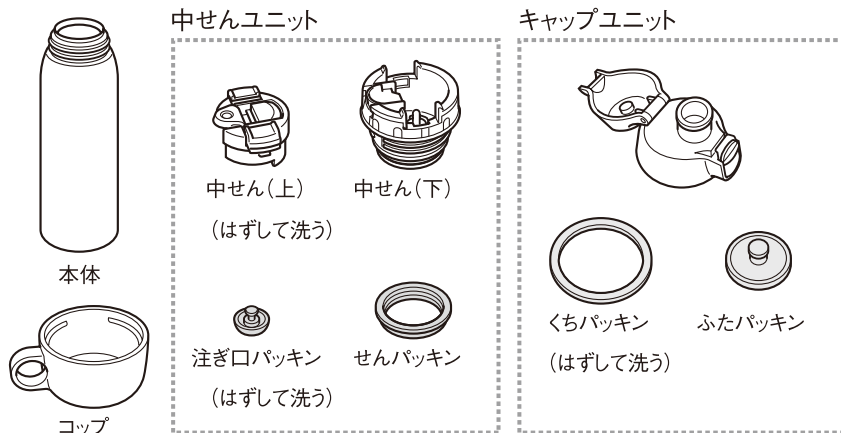


ご注意

- 持ち運ぶときは強い衝撃を与えない。安全ロックを「ロック」にしても強い衝撃でふたがあくおそれ。
- かばんなどに入れるときは、万一のものを防ぐために本体を立てて入れる。横にすると、もれるおそれ。



- ◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れして、十分に乾燥させる。
- ◆洗剤は、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使う。
- ◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。
- ◆においを防ぐために、中せんユニット・キャップユニットをこまめにお手入れする。



- ①洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で十分にすすぐ。
- ②本体外側は、すぐに乾いた布で水分をふき取る。(ふき取らないと「水滴」の跡が残ったり、サビや他のものを汚す原因。)
- ③水分を十分に振り切り、乾燥させる。

パッキンににおいがついたとき

内容物によっては、そのにおいがパッキンに付着することがあります。その場合、パッキンを 30 分程度煮沸すると、においが少なくなりますが、それでも気になる場合は別売りのパッキンをお買い求めください。

ポーチ



ネットに入れ、洗濯機の手洗いコース、またはドライコースで洗い、よく乾燥させる。
※ポーチには塩素系、酸素系漂白剤を使わない。
※ポーチが縮むおそれがあるので、衣類乾燥機は使わない。

ご注意

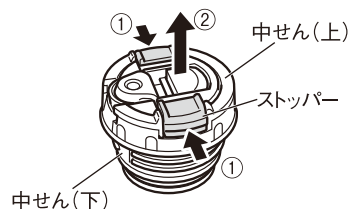
- 本体および各部品(コップ・中せんユニット・キャップユニット・ポーチ)をつけおき洗しない。また、各部品を本体につけた状態で本体を洗わない。
- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。熱湯を使わない。
- パッキン類は必ず取りつける。
- 長期間使わないときは、十分に汚れを落とし、乾燥させる。

中せんユニットと各パッキンのはずしかた・つけかた

中せんユニットのはずしかた・つけかた

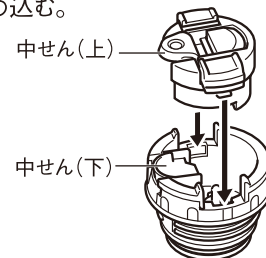
■はずしかた

中せん(上)のストッパーを押し
てはずす。



■つけかた

中せん(上)を中せん(下)に確実
にはめ込む。

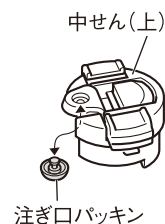
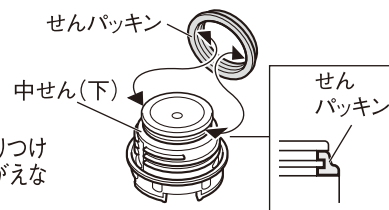


せんパッキン・注ぎ口パッキンのはずしかた・つけかた

つけるときは、奥まで確実にはめ込む。

ご注意

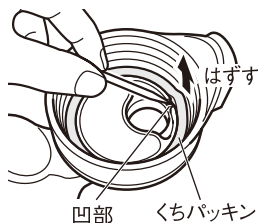
せんパッキンの取り付け
位置、方向をまちがえない
ようにする。
内容物がもれるおそれ。



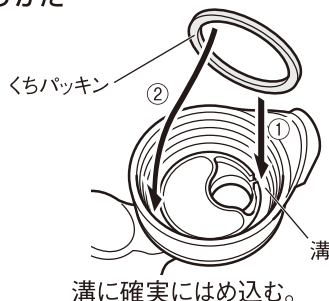
キャップユニットの各パッキンのはずしかた・つけかた

くちパッキンのはずしかた・つけかた

■はずしかた



■つけかた



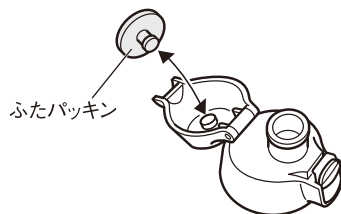
先が細くやわらかい棒(つまようじなど)を凹部に差し込みはずす。
(金串などは使わない。)

溝に確実ににはめ込む。

ふたパッキンのはずしかた・つけかた

はずすときは、パッキンのふちをつまみながらゆっくりはずす。

つけるときは、つける場所を間違えないように、奥まできっちりにはめ込む。



本体内部に汚れが目立ってきたときは…

「サビのような赤い斑点」や「ガラガラしたもの」の場合

汚れは水の中に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)によるものです。これらの汚れには、スーパーや薬局で販売されているクエン酸のご使用をおすすめします。

- ①クエン酸(約 10g)をぬるま湯ですめて本体に入れる。
- ②2 ～ 3 時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で充分にすすぐ。
- ③充分に乾燥させる。

「茶しぶ」や「コーヒー」の汚れなどの場合

汚れは飲み物などに含まれているタンニンや油脂成分によるものです。タイガー真空断熱ボトル用洗剤(別売品)のご使用をおすすめします。

お買い求めは、「消耗品・別売品のお買い求めについて」を参照してください。

こんなとき

中せんユニットやキャップユニットから飲み物がもれる。

オープンボタンが押せない。

オープンボタンを押したときに「シュッ」と音がする。

保温(保冷)が効いていない。

ふたがあかない。

本体内部や中せんユニット・キャップユニットから異臭がする。

キャップユニットに水滴がつく。

本体を振ると「カシヤカシヤ」と音がする。

ご確認くださいこと

中せんユニットやキャップユニット・各パッキンが確実にセットされていますか。

中せんユニットやキャップユニット・各パッキンが損傷していませんか。

飲み物を入れすぎではありませんか。

本体を傾けた状態で注ぎ口を閉じていませんか。

中せんユニットのオープンボタンを押した状態で、コップをしめていませんか。

ふたが確実にしまっていますか。

食器洗い乾燥機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸したり、熱湯を使っていませんか。→ P.12

落としたり、強い衝撃を与えていませんか。→ P.2

飲み物を入れすぎではありませんか。

熱湯を入れて振動を加えると、オープンボタンがかたたくて押せないことがあります。

空気が抜ける音で、異常ではありません。

落としたり、強い衝撃を与えていませんか。→ P.2

お手入れの際、本体の内側を強く押したり、金属たわし等を使用していませんか。→ P.12

飲み物の量が少なくありませんか。少ないと、充分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。

寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。

安全ロックを「ロック」にしていますか。

はじめて使うときは、材料特有のにおいがする場合があります。

汚れが付着していたり、飲み物を長時間入れたままにしていますか。

水道水に含まれるカルキ臭が残る場合があります。

製品の構造上、湿度が高いときに水滴がつく場合があります。→ P.4

保温(保冷)効力を高めるために、本体内部に入っている金属箔の一部がこすれて出る音で性能に影響はなく、異常ではありません。

直しかた

確実にセットする。
→ P.6・9・12・13

損傷しているときは、お買い求めの上、交換してください。→ 裏表紙

入れすぎないようにする。→ P.1・5・8

注いだ後は、本体をまっすぐに立ててから、2～3秒後に注ぎ口を閉じる。

注ぎ口を閉じてから、コップをしめる。
→ P.7

確実にしめる。→ P.7・10

無理に押さず、1度中せんユニットをはずして、飲み物を少量する。→ P.1・5

1度中せんユニットをゆるめ、オープンボタンを押し、そのままめ直す。

安全ロックを「解除」にする。→ P.9

「はじめて使うとき」を参照してお手入れする。→ P.5・8・11～13

お手入れする。→ P.11～13